

「中央アジア+日本」対話・首脳会合の成果：「東京宣言」骨子

日本と中央アジアの未来に向けた協力の方向性: CA + JAD (カジヤッド) 東京イニシアティブ

- 日本の先進的な技術・知見を活用し、中央アジア5か国の産業高度化・多角化を後押しする「互恵関係強化のためのCA + JAD (カジヤッド) 東京イニシアティブ」を立ち上げ。
- 重点協力3分野において互恵的なプロジェクトを推進。
 - ①グリーン・強靭化：重要鉱物サプライチェーン強靭化、エネルギー・トランジションに関する協力（二国間クレジット（JCM）の推進）、防災協力（UNDPと連携した5か国防災案件）等
 - ②コネクティビティ：運輸回廊円滑化による連結性強化（「カスピ海ルート」円滑化支援）、AIエコシステムの共創（「AI協力パートナーシップ」）等
 - ③人づくり：各種人材育成事業、投資環境整備によるビジネス関係強化、医療・保健分野の協力等
 - ・今後5年間で総額3兆円規模のビジネス・プロジェクトの目標を設定。
 - ・法務・司法分野の協力（法務大臣会合の開催）

地域情勢、国際場裏における協力等

- 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化するパートナーシップを確認。
- 主権及び領土一体性の尊重、武力による威嚇又は武力の行使の禁止、人間の尊厳の保護・強化等の国連憲章の原則の堅持を表明。
- 地球規模課題について、人間の安全保障の理念の下、SDGsの達成を目指すことを確認。
- 「核兵器のない世界」の実現に向けたコミットメントを表明。
- 非市場的政策・慣行及び経済的威圧への対処について連携及び協力を強化。
- 関連する国連安保理決議に従った朝鮮半島の完全な非核化へのコミットを再確認。安保理決議の完全な履行の必要性及び拉致問題を含む人道問題の解決の重要性を強調。
- 経済安保の観点から、強靭なサプライチェーン強化の重要性を確認。
- 次期首脳会合のホスト国はカザフスタンからアルファベット順。開催時期は今後調整。